

シンポジウム「集ってみる」

私たち社会福祉法人ひかりの園では今後、このような福祉とアート、文化とが日常的に交わることができるスペースを作りたいことを夢見ています。よくフリースペースやサードスペースと言われるような場所です。誰にとっても少し気が楽になるような居場所が、福祉と文化が交差することによって生み出せたらと考えています。今年度の事業のまとめとしてアーティストやアート、文化に関わる人、福祉関係者などが「集ってみる」シンポジウムを企画しています。今後、どのような街を作っていくのか、作っていくのか、ざっくばらんに皆で集まって議論してみましょう！

日程 | 2026年1月17日(土)

時間・場所などの詳細はグループホームすてっぷ Facebookページにてお知らせします→
※Facebookを利用されていない方は下記の間合せ先までお気軽に！



申し込み

googleフォーム | こちらのQRコードから→
メール | m-ohashi@hikarinosono.or.jp



FAX | 053-430-0597 (グループホームすてっぷ大橋宛)

メール、FAXでのお申し込みは以下の事項を記載しお送りください

- ・氏名、電話番号、メールアドレス、他に参加される方の人数、名前等
- ・4人のアーティストによるワークショップに参加される方は希望講座日(9/9砂連尾、10/11柏木、11/9川口、12/7片岡)もご記載ください

お問合せ

TEL | 053-570-1702 (グループホームすてっぷ大橋宛)

メール | m-ohashi@hikarinosono.or.jp

主催 社会福祉法人ひかりの園

私たち社会福祉法人ひかりの園では、子ども、高齢者、障害を持った方々が様々な活動をし、そして暮らしていってほしいです。今まで少し、皆様には縁遠かったかも知れない社会福祉施設。私たちは、福祉とアートが協働した今回の事業を通し、少しでも福祉施設やケアの場を身近に感じて頂ければと考えています。

所在地 | 静岡県浜松市中央区根洗町681番地の5 WEB | <https://www.hikarinosono.or.jp/>

共催 浜松市社会福祉事業団、NPO法人地域生活応援団あくしす、社会福祉法人復泉会

令和7年度はままつ文化創造チャレンジ事業費補助金採択事業

4人のアーティストによる ワークショップシリーズ

柏木 陽 (演劇家・劇作家)
片岡 祐介 (音楽家)
川口 淳一 (作業療法士)
砂連尾 理 (ダンサー・振付師)

福祉と文化の交差点

参加無料

やったことないを おっってみる

楽になるための福祉、
楽になるためのアート

2025年秋~2026年冬

Input&Output

グループホームに一晚泊したら、
こんなの出ました

杉浦 麻友美 (身体表現者)
つじむら ゆうじ (アーティスト)
中村 ヨウイチ (フォトグラファー)
夏目 とも子 (美術家)

泊ってみる。
止まってみる。
留ってみる。

シンポジウム
「集ってみる」

私たちは浜松市中央区根洗町にある社会福祉法人ひかりの園という団体です。今回私たちはこの「福祉と文化の交差点」という事業を通して、今まで出会ったことがない人たち、異なった文化が交わってみたいことに挑戦します。方法は様々。ワークショップもあります。宿泊体験もあります。シンポジウムもあります。この交わりの向こうに何かあるのか？共生社会へのヒントか、はたまたハレーションやカオスか。不安はあるのですが、私たちはきっとポジティブな何かが生まれるのではないかとワクワクしています。そのためには皆さんのちょっとした勇気が必要です。多分、そんなにイヤな気持ちにはなりません。多分。是非、その少しの勇気を出しての参加を心よりお待ちしております。

4人のアーティストによる ワークショップシリーズ

このワークショップシリーズでは、音楽・演劇・ダンスなどを専門とするアーティストたちと共に、さまざまなコミュニケーションのかたちを肌で体験することができます。毎回、ワークショップ後に講師と一緒に、ワークショップの中でどんなことが起こっていたのか、どんなねらいがあったのか等を聞いたり、感想を言い合うふりかえりの時間が30分あります。自由参加です。

◆喜怒哀楽。それに向き合う身体とは？



ファシリテーター
砂連尾 理（ダンサー・振付師）
2025年9月9日（火）10:30～
@浜松市発達医療総合福祉センター
（浜松市社会福祉事業団）
浜松市浜名区高菌775-1

1991年寺田みさことダンスユニットを結成。近年はソロ活動を中心に、舞鶴の高齢者との「とつとつダンス」、宮城・開上（ゆりあげ）の避難所生活者への取材が契機となった「猿とモルターレ」、音楽家・野村誠との「家から生まれたダンス」等を発表。濱口竜介監督映画「不気味なものの肌に触れる」への振り付け・出演等。著書「老人ホームで生まれた（とつとつダンス）―ダンスのような介護のような―」晶文社、など。

◆視点を変えると日常は舞台？



ファシリテーター
柏木 陽（演劇家・劇作家）
2025年10月11日（土）13:30～
@グリーンノート
（NPO法人地域生活応援団あくしす）
浜松市中央区中沢町12-18

演劇家の如月小春と共に活動し、アジア女性演劇会話事務局、兵庫県立子どもの館の野外活動劇ワークショップなどに新たな演劇の可能性を探る現場に関わる。03年特定非営利法人演劇百貨店を設立し、代表理事に就任。現在もワークショップの進行役として、全国各地の劇場、児童館、美術館、学校で子どもたちと独自の演劇空間を創り出している。和光大学、桐朋学園芸術短期大学などで非常勤講師を務める。

◆何かを通して誰かとつながること



ファシリテーター
川口 淳一（作業療法士）
2025年11月9日（日）13:30～
@KuRuMiX地域交流スペース
（社会福祉法人復泉会）
浜松市中央区三幸町124-7

学生時代より演劇を用いた学習障害児のコミュニケーション活動やワークショップ、高齢者施設での演劇裏方活動など実施。長崎市内の病院に勤務後、介護老人保健施設ふらの（北海道）へ起任。副施設長として勤務する。2008年より結城病院（茨城県）に起任。現在結城病院リハビリテーション部作業療法科科长。著書「リハビリテーションの不思議～聴こえてくる高齢者のこえ～」(青海社)

◆リズムに合わせなくても音楽！



ファシリテーター
片岡 祐介（音楽家）
2025年12月7日（日）14:30～
@浜松市福祉交流センター
多目的室51・52
浜松市中央区成子町140-8

子供のころから作曲や即興演奏に興味を持ち、木琴やピアノの演奏の演奏を自己流で始め、東京音楽大学で打楽器を学ぶ。映画や商業音楽での経験を積んだ後、1997年から2000年まで、岐阜県音楽療法研究所にて研究員として勤務し、障害児者との演奏活動の他、音楽療法士のための実践的な講座や、幼児から高齢者までの幅広い人を対象に即興演奏のワークショップも行っている。

Input & Output グループホームに一晚泊したら こんな人出ました

参加アーティスト

杉浦 麻友美（身体表現者）

つじむら ゆうじ（アーティスト）

中村 ヨウイチ（フォトグラファー）

夏目 とも子（美術家）

浜松在住の4人のアーティストが社会福祉法人ひかりの園の施設に宿泊滞在します！

利用者さんと職員だけになりがちな福祉施設の空間。ある種独特なものかも知れません。でも、それなりに愛おしいやりとりや場面にも溢れているのかも知れません。

4人のアーティストの滞在（INPUT）を通して、どんな表現（OUTPUT）がされるのか、ドキドキです。OUTPUTは12月に1週間程度の期間を通して展示、発表する予定です。場所や日時はおって発表致します。乞うご期待！

泊ってみる。止ってみる。留ってみる。

福祉施設ってあちこちにありますが、意外と近くて遠い存在ではないでしょうか？謎ですよね。今回の事業ではアーティストの方々にINPUTとして宿泊して頂きますが、広く地域の皆様にも「泊ってみる」もしくは「留ってみる」（日帰り等）を広く募集致します！滞在時間や滞在先も個別に相談に乗らせて頂きます。泊ってみる勇敢な方、少し留ってみる慎重なあなたも十分勇敢。個室もあります。Wi-Fiもあります。冷暖房もちろん完備。普段は目の前を通り過ぎていく福祉施設に一度立ち「止まって」、寄ってみませんか？

「Input&Output」「泊ってみる。止ってみる。留ってみる。」
の詳細はグループホームすてっぷFacebookページにてお知らせします→
※Facebookを利用されていない方は裏面お問合せ先までお気軽に！

